

目次

- | | |
|-----------------------------|-------------|
| 1. 前回のまとめ、委員からの意見への対応 | P 3 |
| <u>2. 地域住民との意見交換会の結果と対応</u> | <u>P 16</u> |
| 3. ルートの2次選定（A区間） | P 29 |
| 4. ルート全体のとりまとめ | P 48 |
| 5. 今後の手続き | P 50 |

2. 地域住民との意見交換会の結果と対応

●意見交換会の概要

【12月開催】

[区域] 長崎市・時津町全域

[目的] 一般市民や道路ユーザーなど、幅広い意見を伺う

12月5日～17日 6回 参加者53人

(内訳) 長崎市 4回 参加者34人

- 市民会館アマランス
- 県総合福祉センター
- 県庁
- 北公民館

時津町 2回 参加者19人

- 時津町役場

2. 地域住民との意見交換会の結果と対応

●意見交換会の概要

【1、2月開催】

[区域] 西側ルート帯に含まれる小学校区等

[目的] 主に地域に即した意見を伺う

1月27日~2月22日 8回 参加者150人

(内訳) 長崎市 7回 参加者137人

- ・城山 ・西町 ・西北 ・虹が丘
- ・滑石 ・大園 ・北陽

以上の小学校区

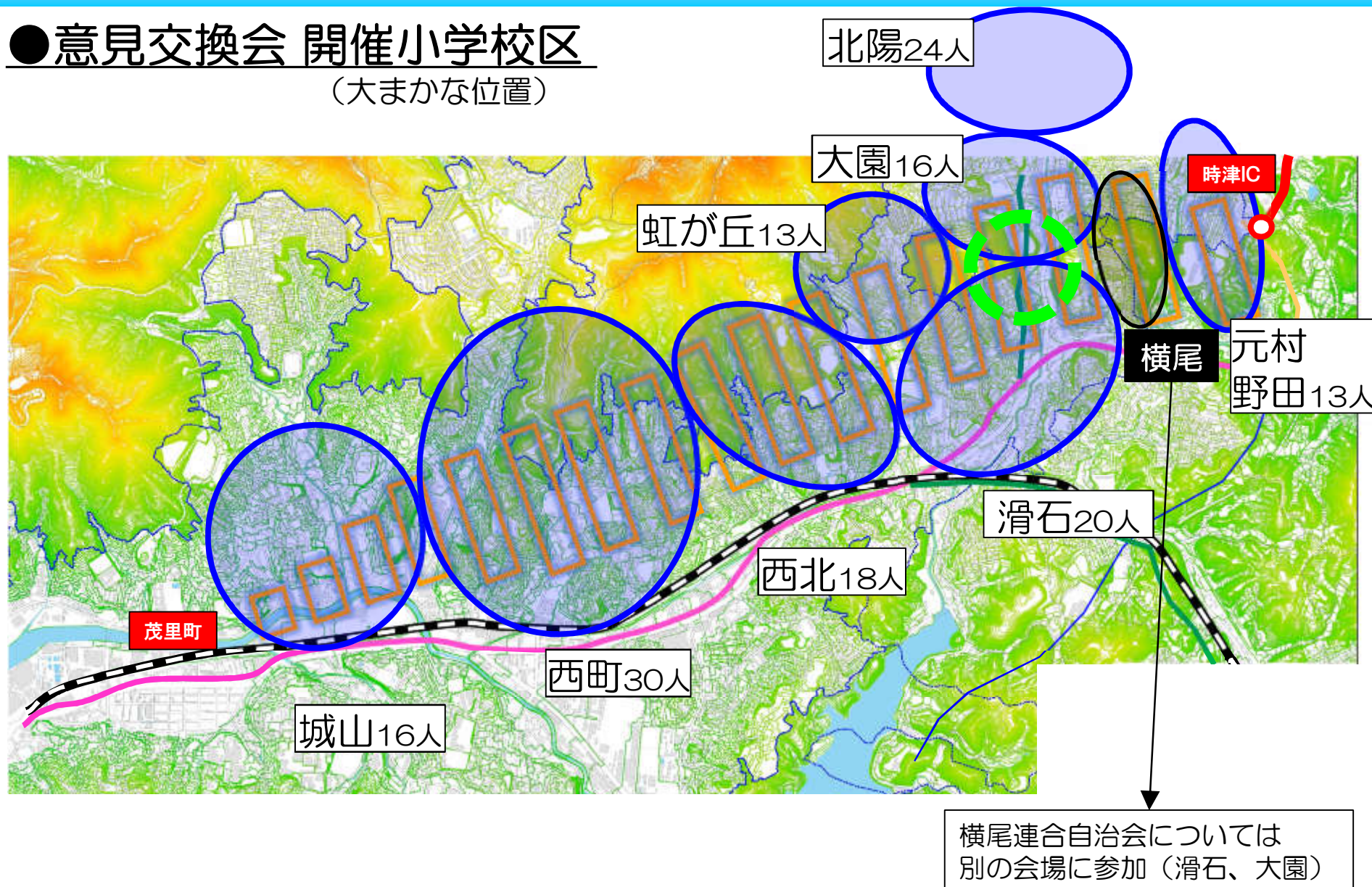
時津町 1回 参加者13人

- ・元村、野田自治会

2. 地域住民との意見交換会の結果と対応

●意見交換会 開催小学校区

(大まかな位置)



2. 地域住民との意見交換会の結果と対応

●意見交換会のまとめ

【全体】

12月5日から2月22日 14回 参加者203人

(内訳)

長崎市	11回	参加者	171人
時津町	3回	参加者	32人

※周知方法

【12月開催】

広報誌（市・町） HP（市、町、県、振興局）

【1, 2月開催】

自治会回覧

ポスター掲示（自治会掲示板、公共施設、会場）

HP（市、町、県、振興局）

2. 地域住民との意見交換会の結果と対応

●参加者の意見と県の考えについて

○参加者の主な意見と県の考え（全体のまとめ）

- 早期の事業化や、完成までの期間を示して欲しい。
（国道等の渋滞対策のため、計画を早期に進めて欲しい。）
→早期事業化に向け、努力する。

- ICから離れた地区はメリットがない。ICの設置を検討してほしい。
→長距離移動の交通を効率的に国道から転換させるには、滑石地区のみが適切と考える。また、沿道地域には、長崎南北幹線道路の整備により、国道や周辺市道の渋滞が緩和されるメリットがある。

- 地域に与える影響（多くの建物移転や地域に必要な施設の移転）を避けるルートがいいのではないか。
→市街地への影響や、コミュニティの維持に配慮してルートの選定や検討を進めていく。

- 完成するまでの国道206号の渋滞緩和について、どのような対策を行うのか。川平有料道路の無料化などができないのか。
→川平有料道路の無料化は困難と考える。全体的な交通の流れを見て渋滞対策を検討していく。

2. 地域住民との意見交換会の結果と対応

●参加者の意見と県の考えについて

いただいた意見は、大きく以下の項目にまとめることができます。

- ①事業全般
- ②ルート帯（ルート）選定
- ③計画（IC、車線、交通量、有料化、混雑緩和）
- ④事業化、完成時期
- ⑤地域に与える影響
- ⑥その他

2. 地域住民との意見交換会の結果と対応

●参加者の意見と対応方針について

① 事業全般

参加者の意見	対応（県の考え）	備考
● 莫大な費用をかけて、佐世保までの時間短縮（約30分）が必要なのか。	長崎佐世保間が1時間で往来できるようになり、交流人口の拡大や物流の円滑化などの実現が必要であるため。	北陽
事業化に向けた取り組みを発表したからには、早く整備してほしい。	早期事業化に向け、努力する。	全会場
国道206号の渋滞解消の対策として、早く進めてほしい。		

2. 地域住民との意見交換会の結果と対応

●参加者の意見と対応方針について

② ルート帯（ルート）選定

参加者の意見	対応（県の考え）	備考
● 経済性だけでなく、早期完成のメリット、用地交渉のコスト、景観への配慮など総合的に判断すべきではないか。	経済性、早期完成のメリット、用地交渉のコスト、景観への配慮など総合的にルートを選定する。	西北
● プール側のルートが、地元の反対がなく、いいのではないか。	地元の意向を十分把握して、ルートを選定する。	城山
● 立ち退きは、ないようにしないとイケない。	支障家屋数をできる限り少なくすることを基本方針としている。	虹が丘
専門的な見地から比較検討された最適案で、進めることでいいのではないか。	選定委員会だけでなく、地域住民の意見も伺いながら、ルート帯を選定する。	西町、西北

2. 地域住民との意見交換会の結果と対応

●参加者の意見と対応方針について

③ 計画（IC、車線、有料化、混雑緩和）

参加者の意見	対応（県の考え）	備考
茂里町や滑石ICまで遠いので、メリットを感じない。城栄や西町など中間にICを作れないか。	長距離移動の交通を効率的に国道から転換させるには、滑石地区のみが適切と考える。 また、沿道地域には、長崎南北幹線道路の整備により、国道や周辺市道の渋滞が緩和されるメリットがある。	西町、西北、城山、虹が丘、滑石
居住地から乗降できないので、この道路のメリットがない。		西北
2車線であれば、低速車への配慮やあおり運転への対応など、追い越し車線や待避所の設置ができないか。	検討区間約7kmにおいては、高架橋やトンネルの構造物がほとんどを占めるため、設置は困難。	時津、西北
予算が厳しいので、有料化し早期整備ができないか。	有料化により、期待通りの交通転換が図られず、国道の渋滞解消に寄与しないことから、無料を考える。	西町、西北、城山、虹が丘、北陽、大園
無料として欲しい。		

2. 地域住民との意見交換会の結果と対応

●参加者の意見と対応方針について

④ 事業実施（事業化、完成時期）

参加者の意見	対応（県の考え）	備考
この道路の妥当性や必然性を説明するために、計画立案時に想定している完成時期を示すべきではないか。	都市計画決定に向けた手続きを実施し、決定後、事業化へ進み、完成までに少なくとも10年以上を要する。	虹が丘
着手まで、また事業完了まで、どれくらいの期間かかるのか。 ルートはいつ決まるのか	また、事業化する際には詳細に事業期間を検討し、決定する。 具体的なルートは、都市計画の手続きを進める中で提示し、都市計画決定でルートが決まる。	全会場

2. 地域住民との意見交換会の結果と対応

●参加者の意見と対応方針について

⑤地域

参加者の意見	対応（県の考え）	備考
● A区間はプール側を通るルートが、用地買収が少なく、地域への影響が小さく、計画が早く進むので一番いいルート帯ではないか	経済性だけでなく、様々な観点から総合的に評価する。	市民会館
● 地域生活に必要な施設が移転すると、地域としては困る。 近隣に代替地がないと、移転をお願いしても移転しない者もいるのではないか。	地域コミュニティの維持を基本方針としており、地域の意見も配慮してルートを選定する。 代替地については、事業実施時に個別調整し、その確保には地元市町の協力を得ながら進める。	城山
排気ガスにより、地域の環境が悪化しないようにしてほしい。	トンネル区間では排気ガスの影響はなく、国道や市道においても交通量の減少により、地域環境は改善されると考える。	西町
滑石は今でも渋滞が激しいが、北側からの交通が加わると、さらに悪化するのではないか。	滑石地区の県道拡幅を進めており、渋滞は緩和される見込み。北側からの交通は、円滑に処理できるようIC等を設計するため、渋滞は悪化しない。	県庁、滑石

2. 地域住民との意見交換会の結果と対応

●参加者の意見と対応方針について

⑥ その他

参加者の意見	対応（県の考え）	備考
完成するまでの渋滞対策はないのか。 ・川平有料道路や西山バイパスを無料化 ・信号制御の見直し など	川平有料道路は、有料道路事業で建設されており、多額の未償還金が残っていることから、現時点で無料化することは困難であると考え。 また、全体的な交通の流れを見て渋滞対策を判断する必要がある。	県庁、時津、北陽
現在井手園交差点は非常に混んでいるが、長崎南北幹線道路の整備で、どのように変わるのか。 西彼杵道路完成に合わせた対策は。	長崎南北幹線道路の整備により、国道および交差点の混雑は緩和すると考える。 西彼杵道路完成時には交通の流れが変わるので、必要な右折・左折帯を追加する交差点改良を現在進めている。	時津西町、滑石、大園